

vol.104

2019年6月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <http://www.niceheart.or.jp/>



な い す は あ と



ふれあいのスポーツ広場富山大会の様子

表紙／写真 ふれあいのスポーツ広場富山大会	1
寄稿／『ふれあいのスポーツ広場音更大会を開催して』 渡部 哲郎さん（自動車総連北海道地協議長）	2
報告／ふれあいのスポーツ広場上半期開催報告	3
寄稿／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ほっかいどう メイミ（漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長）	4
お知らせ／特定寄附金のお願い	7
お知らせ／賛助会員御礼他	8



ふれあいのスポーツ広場 音更大会を開催して

渡部 哲郎 さん
自動車総連北海道地協議長



令和元年（2019年）5月14日（火）音更町総合体育館「サンドームおとふけ」に於いて、「ナイスハートふれあいのスポーツ広場音更大会」を開催しました。

私たち北海道地協は、札幌を中心とした道央地区、旭川を中心とした道北地区、そして釧路を中心とした道東地区の3地区で活動しています。

「ふれあいのスポーツ広場」は、3地区を順に回るかたちで、1995年以降1度も欠かさず開催してきました。自身を振り返りますと、事務局長時代から数えて9年間運営に直接携わってきましたが、参加施設数が伸び悩んだ際には、直接訪問して参加を呼び掛けたこともありました。また、開催地教育委員会の全面協力により、地域内の支援学級に通う子供たちに多数参加いただいたこともありましたし、実行委員が連れてきたお子さんに急遽審判長を務めてもらったこともありました。ま



た、参加者ひとりが行方不明になり、大会運営の最中、実行委員と施設関係者とで必死に搜索した結果、カーテンの陰に隠れている姿を発見して一安心といったこともありました。

北海道は広いですし、3地区を回している訳ですから、次にこの地で開催できるのは何年後になるかわかりません。毎年、何とか盛り上げよう、そしてとにかくケガ無く無事に終わろうと必死でした。

25回目となりました音更大会は、8施設から223名の方に参加いただきました。実行委員には、帯広だけでなく、札幌、苫小牧、旭川、釧路から137名もの仲間が結集しました。

毎年のことですが、開会時には参加者の表情も固く、来賓である音更町重松保健福祉部長、音更町社会福祉協議会河田会長からご挨拶をいただいた際にも反応薄。しかしながら、数々の競技に参加者と実行委員が一体となって取り組み、午後のプログラム、2020応援ソング



「パブリカ」に乗ってのエアロビが始まるころには、全員が満面の笑顔。今年も無事に開催できて良かったなと感じた瞬間でした。

意外と人見知りが多い北海道地協ですが、毎年終了時には一体感と達成感に満ち溢れています。

今回も、実行委員ひとり一人があたたかい気持ちになってくれたはずです。「労働組合って

このような活動もするんだよ」と、家族や同僚に、大会を通じて感じたことを話してくれているはずです。

「思いやりの気持ち」が伝染した仲間たちの様子を見ながら、来年も必ず開催しようと心に誓う訳です。さて、来年はどこで開催しようかな…

ふれあいのスポーツ広場上半期開催報告

2019年度のふれあいのスポーツ広場について開催報告を致します。上半期は24道府県での開催となりました。自動車総連の皆様の多大な尽力のもと、ご参加頂いた多くの方々に感謝申し上げます。なお、下半期の開催日程は次号に掲載する予定です。

No.	開催地	日程	会場	参加者数
1	鹿児島（鹿児島）	4月8日（月）	鹿児島市民体育館	395
2	宮崎（宮崎）	4月15日（月）	宮崎県体育館	319
3	宮城（仙台）	4月20日（土）	宮城広瀬総合運動場体育館	256
4	岐阜（関）	4月23日（火）	せきしんふれ愛アリーナ	315
5	栃木（上三川）	5月11日（土）	日産自動車栃木工場体育館	278
6	岡山（倉敷）	5月11日（土）	倉敷市立東中学校	377
7	北海道（音更）	5月14日（火）	サンドームおとふけ	371
8	徳島（藍住）	5月14日（火）	藍住町民体育館	227
9	香川（善通寺）	5月15日（水）	善通寺市民体育館	414
10	富山（富山）	5月18日（土）	富山市八尾スポーツアリーナ	392
11	長野（東御）	5月18日（土）	東御中央公園第1体育館	313
12	岩手（北上）	5月20日（月）	北上総合体育館	313
13	山形（河北）	5月21日（火）	河北町民体育館	351
14	福島（須賀川）	5月25日（土）	須賀川アリーナ	383
15	茨城（筑西）	6月1日（土）	筑西市立下館総合体育館	301
16	京都（京都）	6月2日（日）	京都市障害者スポーツセンター	281
17	奈良（橿原）	6月3日（月）	ジェイテクトアリーナ奈良	235
18	高知（南国）	6月4日（火）	南国市立スポーツセンター	169
19	愛媛（松山）	6月5日（水）	愛媛県総合運動公園体育館	449
20	福井（越前）	6月9日（日）	越前市 AW-I スポーツアリーナ	188
21	石川（金沢）	6月10日（月）	いしかわ総合スポーツセンター	562
22	福岡（北九州）	6月10日（月）	北九州市立総合体育館	405
23	兵庫（姫路）	6月12日（水）	広畑体育館	269
24	広島（広島）	6月15日（土）	マツダ体育館	中止
24	山口（防府）	6月16日（日）	ソルトアリーナ防府	425

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ほっかいどう

主催：(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金 後援：北海道

日程／訪問先

3月18日(月)知的障がい者生活介護事業所ふれあいランド(苫小牧市)

3月18日(月)支援センターゆみな(千歳市)

3月19日(火)生活介護介護事業所愛歩路／工房はまなす(札幌市)

3月19日(火)地域自立生活応援センター共生舎(札幌市)

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、庄崎隆志さん、メイミさんのご協力をいただき、北海道において開催いたしました。

ノンバーバル・コミュニケーション ワークショップへの思い

メイミ さん



今回もファシリテーターを務めることができ大変嬉しく思い感謝申し上げます。

ノンバーバルコミュニケーションワークショップに関わるようになり、今年で5年です。それ以来、北海道での開催は2度目となります。前回に引き続きご参加頂いた方々もいらっしゃいます。久方ぶりの再会です。1時間のワークショップはどれ一つとして同じものではなく、毎回、新鮮さを味わいます。コミュニケーションの奥深さと可能性を感じます。

皆さまとのノンバーバルなコミュニケーションでの一瞬一瞬を、私の想いと共に振り返っていきたいと思います。

庄崎さんとお会いするのは、昨年の9月のワークショップ以来の約半年ぶりでした。ワークショップ前日、北海道で合流後に軽い打ち合わせ。恐らく30秒程度でしょう。不思議なもので、これでもう大丈夫だろうという安心感があります。既にノンバーバルコミュニケーションがスタートしているような感じです。



最初に訪れた「ふれあいランド」の皆さんは、日曜のお休み明けでどことなくまったりした空気が流れていました。

そこからハイタッチでコミュニケーションを図りながら、ミラーリング（まねっこ遊び）やエアーキャッチボールで少しずつ体を動かし、後半はエアー縄跳びに汽車ごっこと、始まる前のまったり感は嘘の様に盛り上がり、夢中で遊ぶように皆さんと過ごした時間はあっという間。汗もたっぷりでした。

このワークショップは頭ではなく、感覚と心を存分に使います。

夢中になり後で振り返ってみると、自分が何をしたか記憶が曖昧なことがあります。

ただただ、皆さんの笑顔と様々な反応が心に残っているだけです。

この日、一つ自分の中での反省、今後の課題にしたいと思うことがありましたのでそれを綴っておきます。

ノンバーバルコミュニケーションに戸惑いなかなか体が動かず、見ていただけの方が居たのですが、その間、言葉で一生懸命に自己主張されていました。

その情報を上手くキャッチしてワークショップのプログラムに展開することで、もう少し積極的に参加しやすい状況を作れたのでは？と思います。

様々な反応がある中で、今後も更に柔軟性のあるコミュニケーションの形を探っていきた

いと思います。

次に訪れた支援センターゆみなさんの皆さんとのワークショップでは、少人数で落ち着いた雰囲気でした。

開始直前に庄崎さんとお話し、落ち着いた雰囲気に合ったプログラムにしようということ、後は様子を見ながら何をするか任せると庄崎さんが仰いました。

細かいことは決めませんが、全体の方向性をどのようにするかということはある程度、ファシリテーター同士の意思疎通を図ることも大切です。

ただ、ワークショップが始まってみると思いがけない方向へ展開したりすることもしばしば。

この時は、比較的落ち着いた大人しい雰囲気の皆さんという印象だったのが、始まってプログラムが進むにつれ思ったよりも積極的にこちらの想像を超える表現力の豊かさで面白い展開となりました。

いつも行なっているミラーリングのプログラムに変化を加えようと、今回はスカーフを用意しました。

庄崎さんや参加者の皆さんとの掛け合いの中で、そのスカーフの使い方も多様に変化し、イメージしていたものよりも更に面白い世界が広がりました。

スカーフをゆらゆらと動かし、その動きを真似て体で表現しました。

ご年配の女性にやっていただくよう促すと、手が痛いから無理だと仰いました。痛くない





ようこれぐらいの動きでも大丈夫だとスカーフをゆらゆらしてみせると「ならやってみよう」とスカーフを受け取り、2枚のスカーフをゆらゆらと動かしました。

それに合わせてファシリテーター2人が動き出し、そこからノンバーバルコミュニケーションが始まりました。

身体的に様々な状況がある中で、どなたでも無理なくできて皆で楽しめるプログラムとなりました。

翌日は、午前中に愛歩路／工房はまなすさん、午後は地域自立生活応援センター共生舎の皆さんとのワークショップでした。

午前中は、以前ご参加頂いたことがある方も何名かいらっしゃいましたが、前回とはプログラムの内容も変化し、また違った一面を見ることができました。

前回と大きく違った部分は、ファシリテーター同士のコンビネーションで参加者を巻き込んで展開していく内容が多く含まれていることです。

全員で一緒に行なうプログラムよりも、前に出て来て頂きファシリテーターとミラーリングやエアボールをするような一人一人の個性が輝く場面が多い1時間でした。

無言のコミュニケーションキャッチボールが右へ左へななめへと飛び交い、自由さの中にも不思議な一体感が生まれました。

最後に訪れた地域自立生活応援センター共生

舎の皆さんとのワークショップでは、ありとあらゆる形のプログラムがギュッと濃縮された1時間でした。

全体で行なうもの、見て頂くもの、前に出て個々に参加するもの、体を存分に動かすもの。反応も様々でした。笑いが止まらなくなってしまう方や戸惑いながらも誘われると一緒に動いて出す方、一歩後ろから全体を楽しめる方。

終了後、施設の方が普段は見ない新しい一面を発見できたと仰いました。

ノンバーバルコミュニケーションは新しい自分に出会え、そして、相手の意外な一面や新たな可能性を発見できます。

その素晴らしさをより実感した二日間でした。改めて、このワークショップに関わる全ての皆さまに感謝の気持ちをお伝えし、今回のまとめと致します。有難う御座いました。

～メイミ プロフィール～

漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長。
港区登録手話通訳者。

舞台や各種イベント、様々な場面で漫談家・司会者等の活動をする傍ら、都内のデイサービスセンターで介護福祉士として高齢者介護に携わる。特定非営利活動法人笑顔工場を設立し、現在は十数名の若手芸人の参加者を連れて、関東を中心に福祉施設でのお笑いライブを展開。様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。これからの長寿社会に向け、「笑って長生き」という考えを広める為の活動を展開している。アイディアヒューマンサポートアカデミー / カウンセリングスキルベーシック / トップメンタルトレーニング修了。日本アロマセラピー統合医学協会認定心理アロマアドバイザー。クエスト総合研究所認定 / クエストアートセラピーメンタルケア・アドバイザー

特定寄付金のお願い

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ひろしま

当基金では、平成23年度より東日本大震災契機として、様々な自然災害の被災地を対象とした活動を実施して参りました。昨年度は東日本大地震で大きな被害のあった宮城県と、北海道胆振東部地震で大きな被害のあった北海道内の障害児・者の施設へ出向き、ワークショップを行うことにより、地域の中で支えあうつながりを強くすることができないかという目的のもと、多くの方の学びの場として開催することができました。また、この活動に対して、昨年度には募金総額 408,000 円（5 団体 / 9 個人）のご寄付をいただき、支えていただきました。

今年度につきましては、平成30年7月豪雨の被災地域である、広島県内の障害者団体や施設を訪問し、昨年度同様、障害の有無に関わらず、お互いが尊重し合えるためのノンバーバル（非言語）によるコミュニケーションのあり方を学び、楽しめる場づくりをいたします。下記内容にて特定寄付金の募集を実施したくご提案いたします。なお、募金目論見書の交付等につきましては、当基金ニュースレター第104号（2019年6月号）への掲載及びホームページへの掲載にて周知いたします。

<募金目論見書>

1. 寄附募集額 300,000 円 （余剰金があれば場合は、次年度同プログラムで使わせて頂きます）
2. 募集期間 7月1日から9月30日
3. 募集対象 一般
4. 募集理由 広島県内の障害のある子どもたちなどが通う障害者施設へ出向き、ワークショップを行うことにより、地域の中で支えあうつながりを強くすることを目的に実施。
5. 実施概要
 - (1) 主催 （公財）国際障害者年記念ナイスハート基金
 - (2) 後援（予定） 広島市、（福）広島市社会福祉協議会
 - (3) 助成 （福）黎明会福祉開発振興援助事業
 - (4) ファシリテーター
庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家
メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長
- (5) 日時 2019年9月11日（水）～9月13日（金）
- (6) 会場 （特非）海田なかよし実習所／（福）安芸の郷／（福）やぎ 八木園
- (7) 参加者 各施設に在籍する障害のある方及び支援者等
- (8) 参加費 無料



6. 振り込み金融機関

同封の「郵便払込取扱票」にて、払込をお願いします。＊通信欄の特定寄附金（ノンバーバルコミュニケーションワークショップ）欄にチェックをお願いいたします。尚、募金目論見書の交付等につきましては、当基金ニュースレター6月号への掲載及びホームページへの掲載にて周知いたします。

7. 受領書等の送付

振替送金確認後、領収書及びお礼状を送付いたします。

8. 結果の報告

募集期間終了後、寄付金総額等の必要事項及び、寄付金の収支に係る決算書、事業報告書を、当基金ニュースレター、ホームページへ公開いたします。

お問合せ 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター 電話 03-3434-2170 FAX 03-5401-0681

URL <http://www.niceheart.or.jp> /e-mail:info@niceheart.or.jp

ナイスハートなご支援をありがとうございました

2019年3月から5月の間に、当基金へ賛助会員加入や寄付金並びに特定寄附金を頂戴いたしました。
いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【賛助会員】

(特非) 栗山町手をつなぐ育成会様、(株)レクスポ様、(一社)山梨県重症心身障害児(者)を守る会 あゆみの家様、軽石義則様、(株)コミュニティライフプロモーションズ様、(福)愛誠会 理事長 岡村幸彦様、佐賀市身体障害者福祉協会連合会兵庫支部 長崎武彦様、(福)斉信会様、だんでらいおん 所長 瀬谷ノブ子様、デイセンターゆう 施設長 十島 雍蔵様、セカンドハウスきずな野 施設長 十島文子様、きずな学園 施設長 十島真理様、松永朗様、戸井田和彦様、(福)明和会様、(特非)まーる工房 理事長 平野万理子様、合田雅一様、テクニカル・コア 代表 中西八朗様、谷本ひろ子様、(福)起生会 玄海さつきの杜様、(福)ピースの会様、倅多ひろみ様、織本真一郎様、八風・マーヤの園 管理者 丹羽一誠様、(特非)ぶどうの会様、(福)和光福祉会 理事長 平川輝子様、袴成光様、(特非)恵庭市手をつなぐ育成会様、赤羽治彦様、田口茂様、(公社)日本エアロビック連盟様、宇津峰十字の里様、合同会社連 代表 諸喜田環梨衣様、(福)美谷会 美谷の里様、佐藤一樹様、こぶしの家様、奥川法律事務所 弁護士 奥川貴弥様、ワークステージやた様、(福)フォーレスト八尾会様、(特非)きのこハウス 理事長 横田弘一様、(福)さやか さやか工房様、(福)ゆうかり様、(福)創樹会 理事長 西山堅太郎様、(福)貴桃会様、あさひの丘様、(特非)ハートスポット 理事長 種澤勝一様、(福)ポム・ド・パン 障害者支援施設ウィンドヒル様、(特非)自立支援センター歩歩路 理事長 潤口良一様、潤口良一様、あすなろの里 園長 石坂裕一様、(福)七草会 風ととくべえ 施設長 植木正弘様、京都手をつなぐ育成会西京支部 津田郁子様、(福)さざんか会のまる様、(特非)ドリームサポートたんぼ様、つくし園 施設長 永井裕二様、(福)美谷会 美

谷の風 管理者 早田和弘様、(株)ムーンワークス様、(有)ビジネスネットワーク様、(有)大洋クリーニング商会様、(福)ひろびろ福祉会様、(福)上口福祉会 まがたま荘様、(福)小諸学舎 しのめ作業所様、エスポアール・スター様、社会就労センターえいぶるの里様、(福)ナザレの村 かすがの里様、(福)ナザレの村 あじさい様、佐賀市諸富町身体障害者福祉協会様、わーくびれっじみのり様、(特非)ささゆり あゆみ館様、(株)全国儀式サービス様、(福)大樹 大樹水島福祉作業所 理事長 藪内晴久様、(福)大樹 大樹児島福祉作業所 理事長 藪内晴久様、障害者生活介護事業所ほほえみ様、阿波就労支援センターアスカ 施設長 笠井光顯様、ドリームパラダイス様、わくわくファームきらり 施設長 酒井哲夫様、(福)安芸の郷様、京都手をつなぐ育成会右京支部 橋本喜代様、(福)泉学園 障がい者デイセンターさくら様、(福)遊歩 吾亦紅様、(財)たんぼぼの家 理事長 播磨靖夫様、きつつき共同作業所様、(福)あかぎの響様、ふじ健介様、(特非)愛和報恩会 理事長 吉田勇次郎様、東武トップツアーズ(株)東京法人西事業部様、(福)四ツ葉福祉会様、(学)仙台育英学園 理事長 加藤雄彦様、(福)常盤会しろやまの風様、(特非)サンサンいわた様

【寄附金】

鈴木英仁様、(特非)オープンハウスクローバー様、あすなろ福祉園様、地域活動支援センターぼのぼの作業所様、(福)たちばな会 第一たちばな学園様、(株)スマイルリフォーム 代表取締役 松井宏之様、心促福祉作業センター様、(特非)なないろ 浅田瑞人様、(特非)みのりの会様

【特定寄附金】

合田雅一様、野口昇兵様

ナイスハートなご支援をお願いいたします

私どもナイスハート基金は、障害の有無に関わらず、共に楽しむことのできる内容の事業を行い、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」の実現への一助となるべく活動を続けております。

厳しい経済状況の中、より多くのみなさまにご支援をお願いするため、賛助会員を募集しております。是非ご検討をお願いいたします。

【賛助会員会費】 法人・個人問わず1口1万円

【ご入金先】 郵便振替 00180-7-70417

ナイスハート基金

